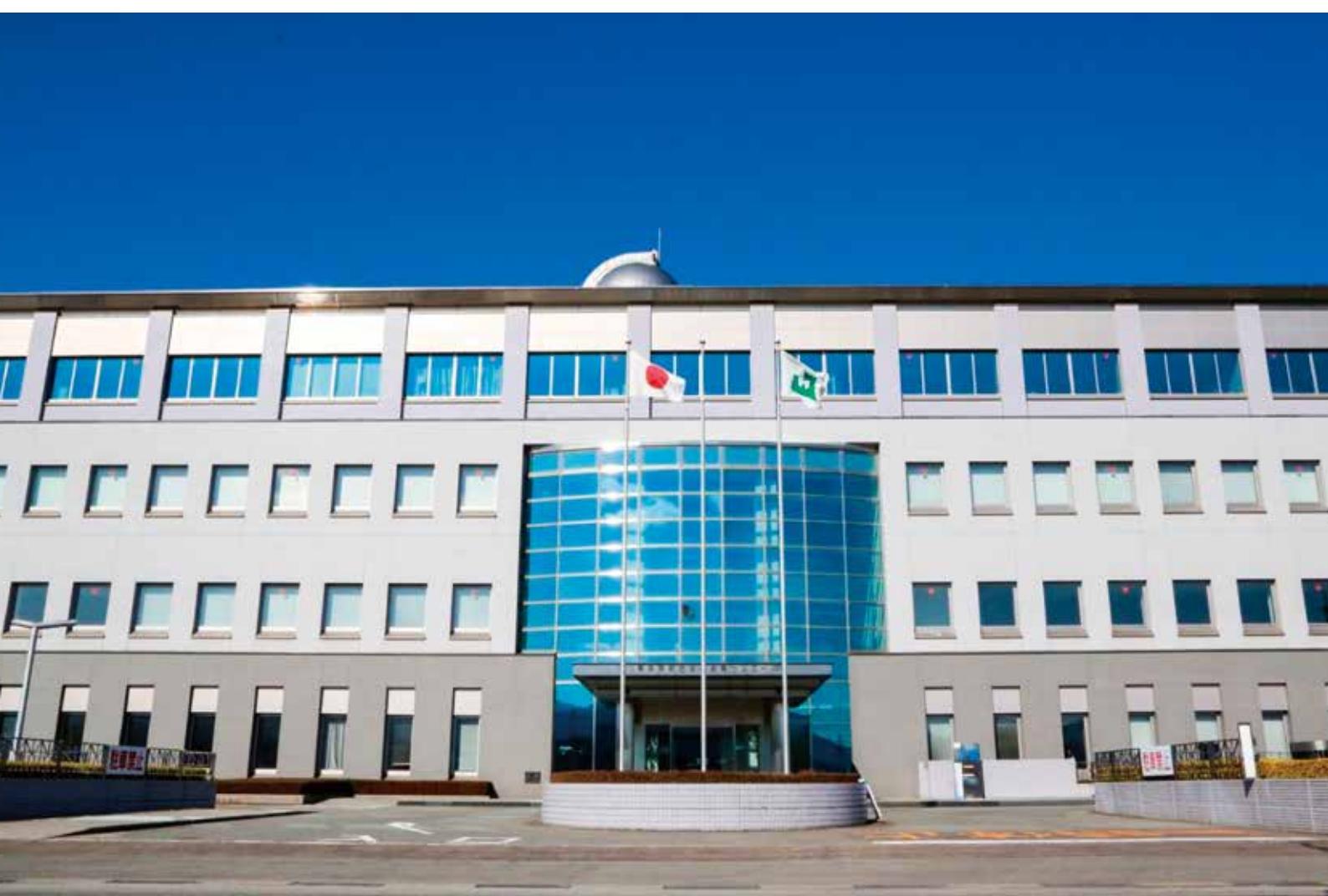




青森県基本計画  
「青森新時代」  
への架け橋

令和6年度（2024）

# 要 覽



青森県総合学校教育センター  
AOMORI PREFECTURAL SCHOOL EDUCATION CENTER



青森県総合学校教育センター  
イメージキャラクター  
「アブセくん」

## CONTENTS

I 設置目的・運営方針	1
II 業務の概要	2
1 研修に関すること	2
2 研究に関すること	3
3 教育相談に関すること	4
4 資料・情報の収集・提供に関すること	4
5 学校等の支援に関すること	5
6 情報化の推進に関すること	6
7 広報に関すること	7
III 組織機構	8
IV 施設の概要	9
V 沿革	11

## I 設置目的・運営方針

### 1 設置目的

青森県総合学校教育センターは、設置条例に基づき、学校教育の充実振興を図るため、次の業務を行います。

- (1) 学校教育に関する教育関係職員の研修に関すること
- (2) 学校教育に関する専門的、技術的事項の研究に関すること
- (3) 教育相談に関すること
- (4) 学校教育に関する資料及び情報の収集及び提供に関すること
- (5) その他学校教育の充実振興上必要なこと

### 2 運営方針

青森県総合学校教育センターは、子どもたちの未来を創るために、所員の心と力を結集して、学校を支援します。

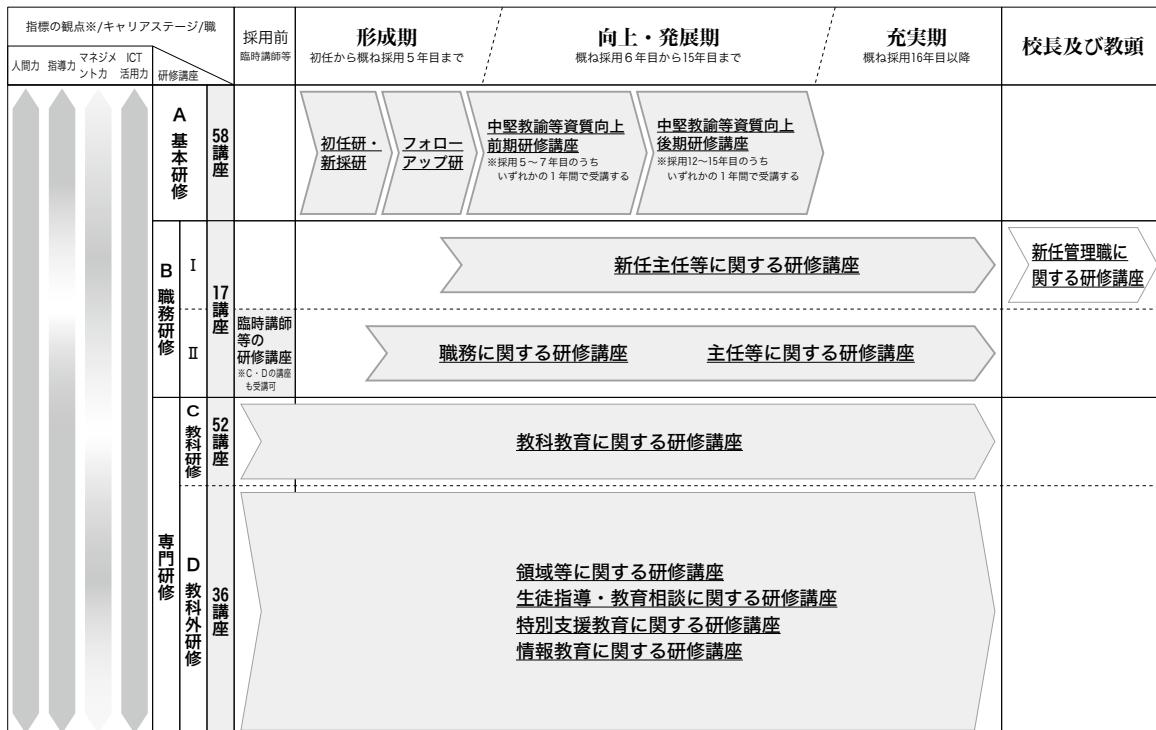
## II 業務の概要

### 1 研修に関すること

「“新しい時代に必要となる資質・能力”を育む“教師力”的向上」を目指し、次のように研修講座を開催します。

- 講座の目標を明確にし、演習、協議等を重視した主体的に参加できる研修を提供します。
- 令和の日本型学校教育の実現及びデジタル・シティズンシップ教育の普及に向け、ICT等の効果的な活用を図る研修を提供します。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を目指した内容を提供します。
- 学校、先生方の課題や悩みに寄り添い、その実践と意欲をサポートします。

#### (1) センター研修概要



#### (2) 研修区分別内訳 [令和6年度講座数]

(令和5年度講座数：延べ修了者数)

全 体	[163講座]	(158講座：3,735人)
基本研修	[ 58講座]	( 54講座：1,772人)
初任者研修	[24講座]	( 24講座： 919人)
新規採用者研修	[10講座]	( 7講座： 33人、3講座：実施なし)
フォローアップ（2年次）研修	[ 5講座]	( 5講座： 145人)
中堅前期研修、中堅前期・後期研修	[10講座]	( 10講座： 351人)
中堅後期研修	[ 9講座]	( 8講座： 324人、1講座：実施なし)
職務研修	[ 17講座]	( 17講座： 592人)
専門研修	[ 88講座]	( 87講座：1,371人)

#### (3) 学校種別内訳 (令和5年度延べ修了者数)

全 体	3,735人	中学校（公立）	863人
小学校（公立）	1,025人	特別支援学校（県立）	818人
高等学校（県立）	961人		
その他	68人		

## 2 研究に関すること

本県学校教育の諸課題について調査研究を行い、その成果を公表及び提供します。

- 学校への還元を第一とし、教育活動に役立つ実践的・先導的な研究を行います。
- 学校での活用を進めるため、研究報告書、実践の手引き、指導資料等を作成して学校に提供します。
- 研究成果や研究過程を、Webページ上へ掲載し、広く県民に理解いただくとともに、全国に向け発信します。

研究では、研究員による個人研究のほか、本県学校教育の課題解決や学校支援に資する実践的・先導的な研究として、令和3年度から令和6年度までは「学校におけるICTの効果的な利活用」をテーマとして、全指導主事が研究にあたるセンター研究を推進しています。

### センター研究 令和5年度の取組

グループ名	おもな研究内容
国語	ICTを活用した国語科の授業づくりに関する研究
社会、地理歴史、公民	社会科・地理歴史科・公民科の授業における1人1台端末の日常的な活用
算数、数学	統計分野におけるICTを活用した算数・数学科教育の研究
理科	理科、物理、化学、生物、地学の授業におけるICTの効果的な利活用
音楽、図画工作、美術	ICTを活用した音楽・図画工作・美術の授業づくり
体育、保健体育	体育科・保健体育科の学習指導における1人1台端末の活用
家庭、技術・家庭	家庭科、技術・家庭科の指導における主体的な学びに対応する、生徒の個別課題支援のためのICT活用の工夫・研究
外国語	授業の充実に向けた、ICTを効果的に活用した言語活動の研究
特別の教科 道徳	特別の教科 道徳の学習指導におけるICTの効果的な利活用に関する研究
特別支援教育	読み書きに困難のある児童生徒への機能代替アプローチによるICT活用の理解啓発に関する研究～開発コンテンツの有用性の検証と研修パッケージの作成～

### 3 教育相談に関するこ

県内の学校、本人や保護者の教育相談に応じます。

- 相談者の悩みや相談を一緒になって考えます。
- 学校や各市町村教育委員会、医療や福祉などの関係機関と連携して相談を行います。

#### (1) 教育相談課

主な相談内容	対象	方法
○子供の教育全般に関すること <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめや不登校に関するこ</li> <li>・学業や進路に関するこ</li> <li>・性格や行動に関するこ など</li> </ul>	幼児、児童生徒 保護者及び教職員	毎週 月～金曜日 9：00～17：00 (電話は8：30～) 月1回 土曜日 9：00～12：00

こころの教育相談センター（教育支援センター）	開室時間
○不登校状態にある県内全域の児童・生徒（小中高校生対象）に対し、適切な指導および支援を行い、子供の社会的自立を目的とする <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人や保護者、教職員との面接相談により、不安や悩みの解消のための支援をします。</li> <li>・体験的な活動、望ましい集団活動により、社会的自立のための支援をします。</li> <li>・学習習慣の定着と学習意欲の向上のための支援をします。</li> <li>・学校復帰へのステップを本人とともに、家庭、学校と連携しながら考えます。</li> </ul>	月・火・木曜日 10：00～14：45 金曜日 10：00～12：00 *水曜日はチャレンジ日 *長期休業中（夏休み・冬休み）は休みとなります

#### (2) 特別支援教育課

主な相談内容	対象	方法
○特別支援教育に関するこ <ul style="list-style-type: none"> <li>・園や学校・家庭での過ごし方に関するこ</li> <li>・学習のつまずきに関するこ</li> <li>・進路に関するこ</li> <li>・コミュニケーションに関するこ</li> <li>・見えや聞こえに関するこ など</li> </ul>	幼児、児童生徒 保護者及び教職員	毎週 月～金曜日 9：00～17：00 月1回 土曜日 9：00～17：00

#### 【資料】相談件数（令和5年度）

相談件数(件)		電話(件)	来所(件)
2,702	①教育相談課	2,549	1,426
	②特別支援教育課	153	97

### 4 資料・情報の収集・提供に関するこ

学校教育に関する図書、視聴覚教材、その他必要な教育資料等を収集・整理し、提供します。

- 教育に関する図書資料等を収集・整理し、研修・研究等に活用できるように提供します。
- 図書資料室の利便性確保と環境整備を行います。

原則として、県内の幼稚園・認定こども園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教職員の方々に御利用いただけます。利用時間は、平日の9：00～16：30です。

#### 【令和5年度の図書資料等】

	図書	視聴覚教材	その他の
令和5年度収集	177冊	2本	・各教科や道徳、生徒指導等学校教育に関する38種の定期刊行物 ・全国の教育センター・大学等の研究紀要をはじめとする教育資料（4,122冊）
累計	20,850冊	429本	

## 5 学校等の支援に関すること

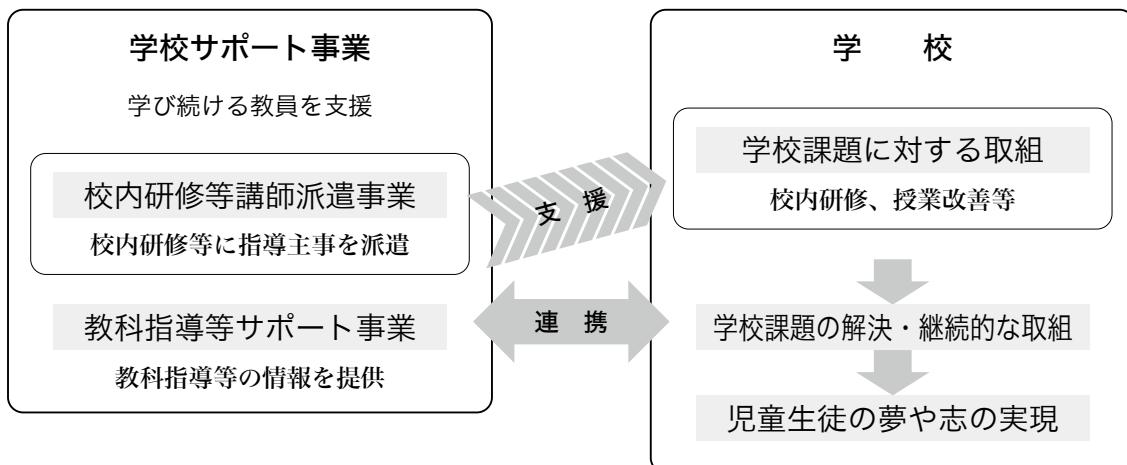
教育活動の充実のために、学校等が必要とする事業を展開し、教員をサポートします。

### ○校内研修等講師派遣事業

学校が抱える教育課題等の解決に向けて、教員の資質・能力の向上を目指して行う校内研修等に講師として指導主事を派遣し、研修の活性化を図るとともに教育活動を支援します。

### ○教科指導等サポート事業

県内教員から寄せられる教科指導等の質問に対して的確な情報を提供し、サポートします。



### 【校内研修等講師派遣事業のテーマ例】

#### 学習指導

- ◆授業力向上と授業改善
- ◆授業におけるICT活用
- ◆授業のユニバーサルデザイン化

#### 特別支援教育

- 特別な配慮を必要とする児童生徒への支援
- 個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成
- 障がい特性に応じた指導

#### 生徒指導・教育相談

- ◇児童生徒理解のための調査法の活用  
(「アセス」や「Q-U」の理解と活用)
- ◇人間関係づくり  
(グループアプローチを中心に)
- ◇面接相談の進め方  
(教育カウンセリングの基本)
- ◇児童生徒のためのストレスマネジメント
- ◇いじめへの対応
- ◇不登校への対応
- ◇保護者への対応
- ◇情報モラルの指導
- ◇SOSの出し方教育
- ◇多様な性の理解

### 【令和5年度の実績】

事業名	件数
校内研修等講師派遣事業	146件
教科指導等サポート事業	63件

## 6 情報化の推進に関すること

学校教育の情報化推進に関する相談や情報通信ネットワークの技術支援を行います。

○わかりやすい授業の実現に向けたICT活用を支援します。

○授業に役立つ情報を提供します。

○青森県教育ネットワーク(ASN)を活用して様々なサービスを提供します。

### 「教育の情報化」支援

学習者用コンピュータやICT機器の活用法など、教育の情報化に関する技術を提供しています。



学習者用コンピュータの活用



ICT機器に関する技術支援

### 授業に役立つ情報の提供

「教育情報の提供」・「WEB授業動画配信」・「ICT活用応援サイト」など、授業に役立つ情報を提供しています。

授業に役立つ情報の提供については、当センタートップページの「リンク」からご覧いただくことができます。



総合学校教育センタートップページより

### 情報通信ネットワークの活用推進

青森県教育ネットワーク(ASN)を活用した様々なサービスを提供しています。

#### マーリングリスト

電子メールの一斉配信システムです。教育研究会、小・中・高等学校・特別支援学校の文化・体育団体等、教育活動の意見交換の場として利用できます。

詳しくは、当センタートップページの「学校サポート」をご覧ください。



ASN青森県教育ネットワーク  
トップページより

## 7 広報にすること

県内外の最新の情報やセンターの研修講座、研究成果に関する情報等を広く県民に周知し理解を図ります。

○センターの業務や研修講座等の紹介について、Webページ、刊行物、メール配信等で情報を発信します。

○授業に活用できる情報を提供します。

○情報の即時性と適時性をキーワードに、情報発信の工夫改善に努めます。

- ・「センターだより」をWebページ上で発行
- ・「研修講座等」をWebページで公開
- ・「開催した講座の様子」をWebページで公開
- ・要覧の発行
- ・「青森県総合学校教育センターInformation」の発行
- ・リーフレットの配布「教育相談のご案内」「こころの教育相談センターのご案内」
- ・メール配信を活用した各種情報提供
- ・「青森県総合学校教育センター センターセミナー」の開催
- ・「広報あおもりけん」等の広報誌へ記事提供



**センターだより**  
第75号

### 研修講座の実績

●研修区分別修了者数	
【基本研修】	計 919名
・初任者研修	(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)
・新規採用教員研修	(准任教育、教務担当、実習選定)
・経験者研修	(フォローアップ研修、やせ期間研修、中型前期・後期研修、中型後期研修)
【職務研修】	計 377名
・職務研修Ⅰ	(校長研修、教務研修、准立学校事務長研修、教務主任研修)
・職務研修Ⅱ	(中学校道徳指導担当者研修、校内研修担当者研修)
【専門研修】	計 215名
・教科研修	計 595名
・教科外研修	計 773名

今年度は、150講座を開催しました。これらの講座に対するアンケート集計の結果、「内容は分かりやすかったか」や「実践の参考になったか」について5段階評価の最高評価「5」と回答した受講者は8割おり、受講者にとって深い学びのある講座を提供してきたと考えております。また、教科研修の8割の講座において、ICTを活用した演習等に取り組みました。

次年度は、令和の日本型学校教育の実現及びデジタル・シティズンシップ教育の普及に向け、ICTの効果的な活用に向けた講座を準備しております。更に、専門研修では、オンライン型研修(事前の動画視聴)を取り入れた講座を推進していきますので、皆様の受講をお待ちしております。

### 来年度予定されている新規講座の紹介

D30 ゼロから学ぶ! iPad初心者講座	【講座概要】 現在、1人1台端末の導入により、業務や授業においてタブレット端末を活用する機会が多くなっています。しかし、iPadを使用している学校においては、iPad特有の操作性に不安を抱えている先生方も少なくないと思われます。そこで本講座では、はじめてiPadに触れる先生方を対象に、端末の基本操作や文字入力・カメラ・Webブラウザなどの標準アプリの使い方を中心とした研修を通して、端末を効率的に活用できるスキルアップを目指します。  【次のような先生方にオススメ!】 ○iPadの操作方法に不安を抱えている方 ○iPadの基本操作や標準アプリの使い方を習得したい方
6月5日(水)	

D07・D08 「『気になる子供』のかかわり方研修講座」は校種で幼・小・中・高等学校の2つに分け、より教育現場でのニーズに即した内容で実施します。研修講座の詳細については、3月1日付で当センターホームページにアップしておりますので、そちらも御覧ください。

**校内研修等講師派遣事業の実績**

令和5年度	派遣数 146件 受講者数 約3,275名 本事業を御活用いただき、ありがとうございました。
-------	---

**派遣校種・機関別内訳**

小学校	34件
中学校	26件
高等学校	31件
特別支援学校	10件
教育機関	13件
研究会・協議会	32件

**テーマ別内訳(件数上位のもの)**

授業力向上と授業改善	55件
授業におけるICT活用	18件
特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	16件
児童生徒の理解のための調査法の活用(アセス)	10件
不登校への対応	10件
SOSの出しお教育	7件

**アンケート結果(5段階評価率)**

研修の構成は適切か。	4.88
研修の内容は分かりやすいか。	4.92
実践する上で参考になったか。	4.92

「不登校児童生徒に目を向けていつも、学校環境でどうか児童生徒に注目し、それまでに至った背景や状況について共有していくから」、「オンラインでの研修でしたが資料に資料をたくさん取り入れた講義でとても分かりやすかったです」、「研修を始めたばかりの研修ではよく見聞きを知っている知識による理解度があるため、教えていただいていることを理解することができました」、「実践的で、実感をもつて理解できました」、「校内研修等の目的を理解してきました」と感じておりました。

**学校サポート事業の担当者より**  
今和5年12月、NITS戦略の中で、学習観・研修観の転換が示されました。研修目標、研修内容、研修方法、この3つの観点を意識し、研修をデザインしています。校内研修のプログラム内容をブラッシュアップし、先生方に「求められる校内研修」を目指します。

**講義資料の一例**

授業力向上と授業改善	授業のユニバーサルデザイン	障害特性に応じた指導
3. どうぞ! 漢字の読み方 フリガナのつけ方		
1. 漢字の読み方 2. 漢字の読み方 3. 漢字の読み方 4. 漢字の読み方 5. 漢字の読み方 6. 漢字の読み方	01 02 03 04 05 06	01 02

**【講義資料の一例】**  
授業力向上と授業改善  
3. どうぞ! 漢字の読み方  
フリガナのつけ方  
1. 漢字の読み方  
2. 漢字の読み方  
3. 漢字の読み方  
4. 漢字の読み方  
5. 漢字の読み方  
6. 漢字の読み方  
01  
02  
03  
04  
05  
06  
授業のユニバーサルデザイン  
01  
02  
03  
04  
05  
06  
障害特性に応じた指導  
01  
02

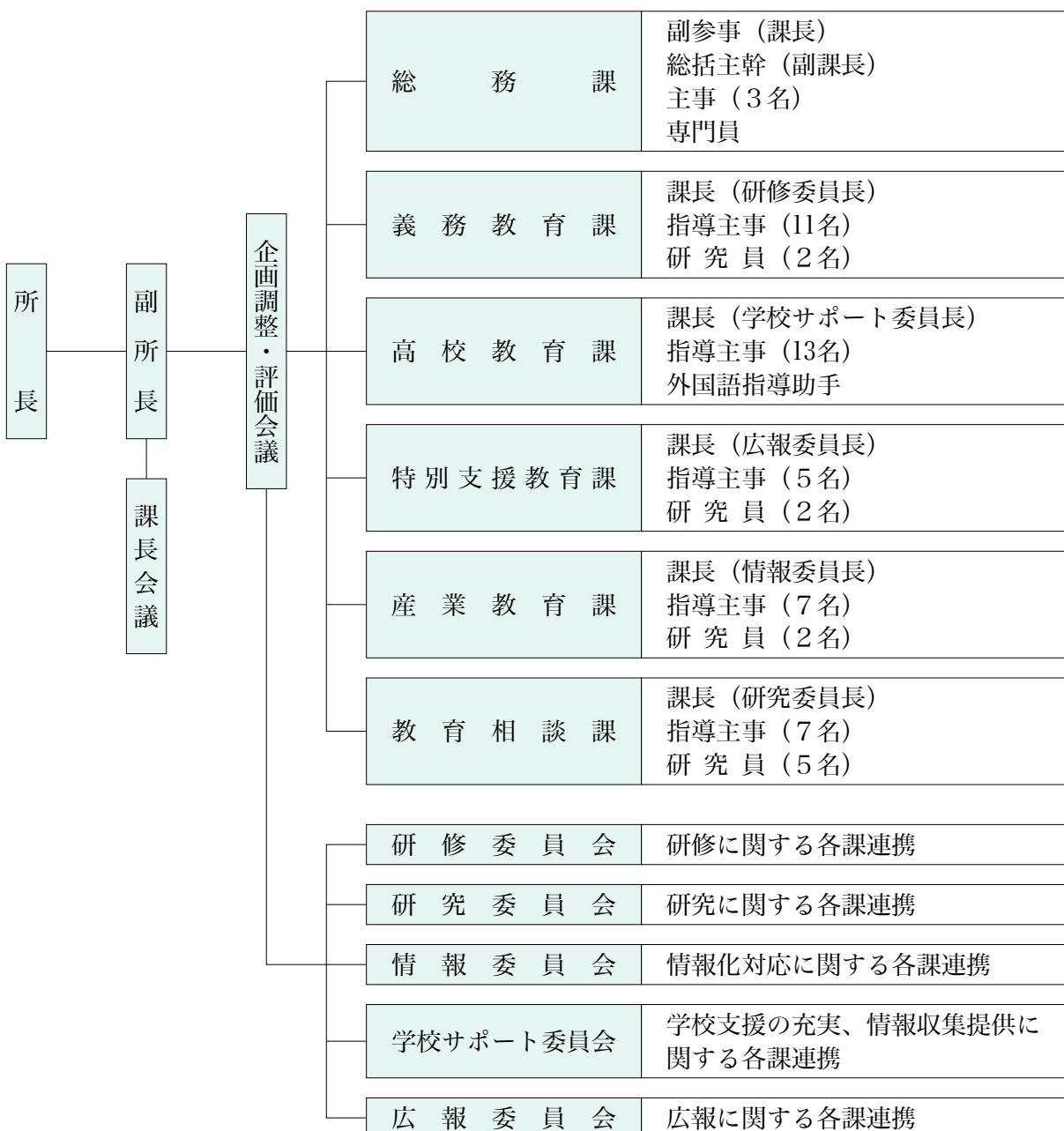
令和6年度もオンラインによる実施が可能です。皆様からの御要望に応えられるよう準備を進めて参りますので、積極的に御活用ください。

「センターだより第75号」（令和6年3月8日発行）

- 7 -

### III 組織機構

令和6年4月1日現在



#### 職員数

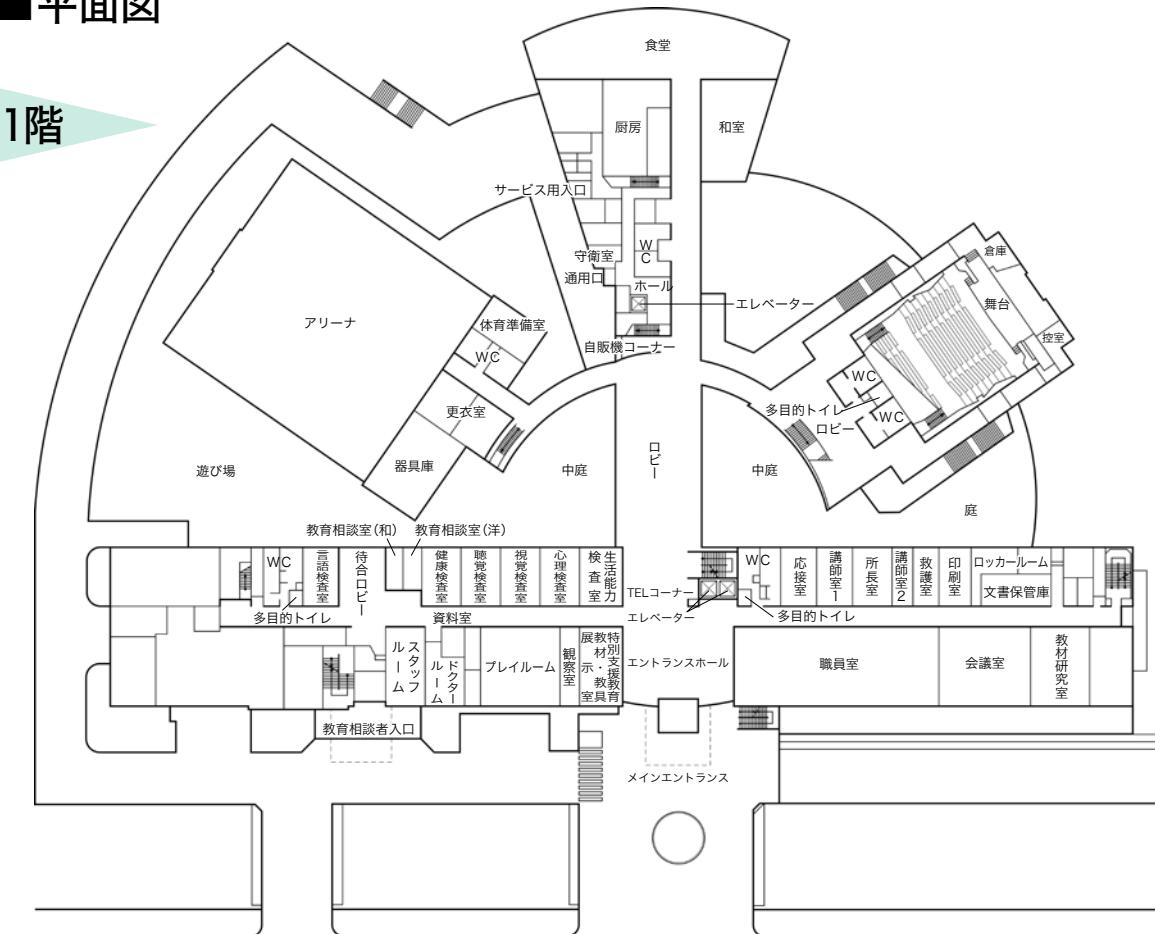
所長	副所長	課長	指導主事		会計年度* 任用職員	合計
1	1	6	43			
総括主幹	主事	専門員	研究員	小計	12	79
1	3	1	11	67		

\*会計年度任用職員・・・研修講座補助員2、非常勤事務員3、外国語指導助手1、教育相談補助員2

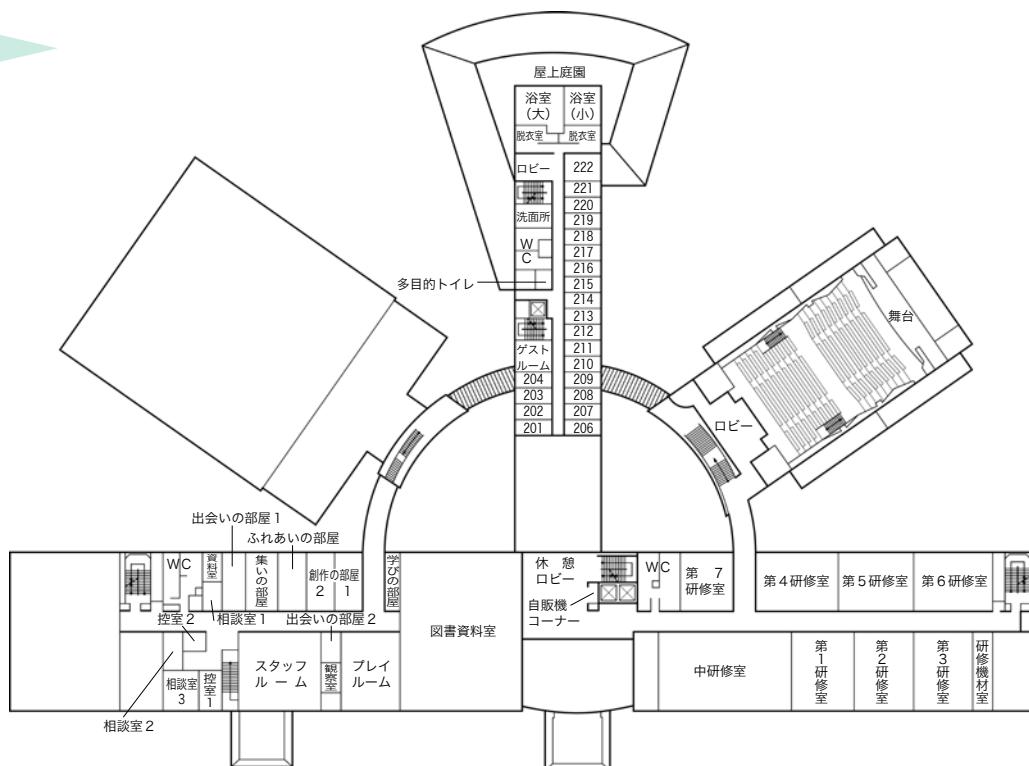
指導員3、不登校支援コーディネーター1

## IV 施設の概要

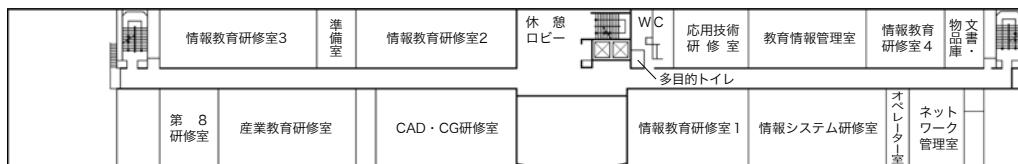
### ■平面図



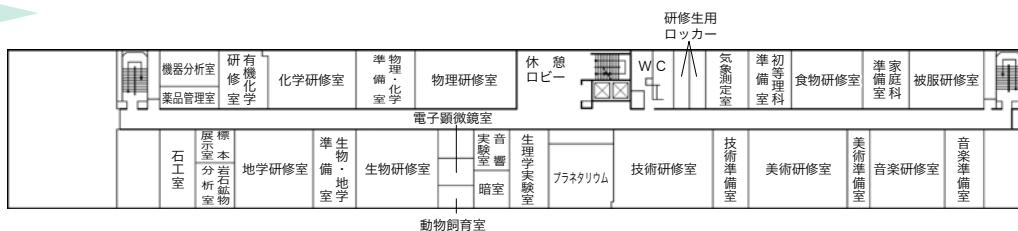
2階



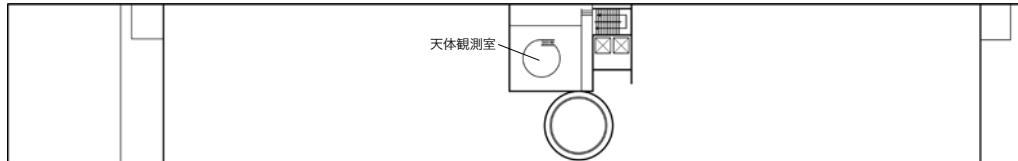
## 3階



## 4階



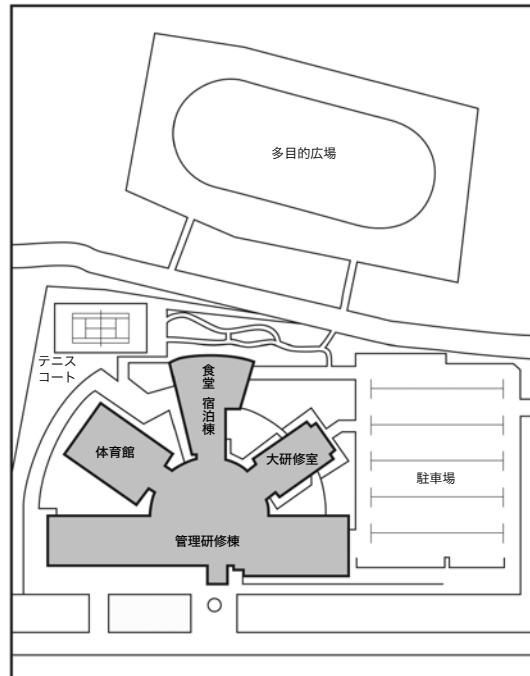
## 塔屋



## ■配置図

管理研修棟

屋上	
塔屋	天体観測室
4階	音楽・美術・技術・家庭研修室 物理・化学・生物・地学研修室 プラネタリウム
3階	第8研修室 情報教育研修室1・2・3・4 CAD・CG研修室 産業教育研修室 情報システム研修室 教育情報管理室等
2階	中研修室・第1～7研修室 図書資料室 学びの部屋・集いの部屋等
1階	職員室・会議室 フレイルーム 生活能力検査室等
ピロティ	駐車場



# V 沿革

I 運設方針

II 業務の概要

III 組織機構

IV 施設の概要

V 沿革

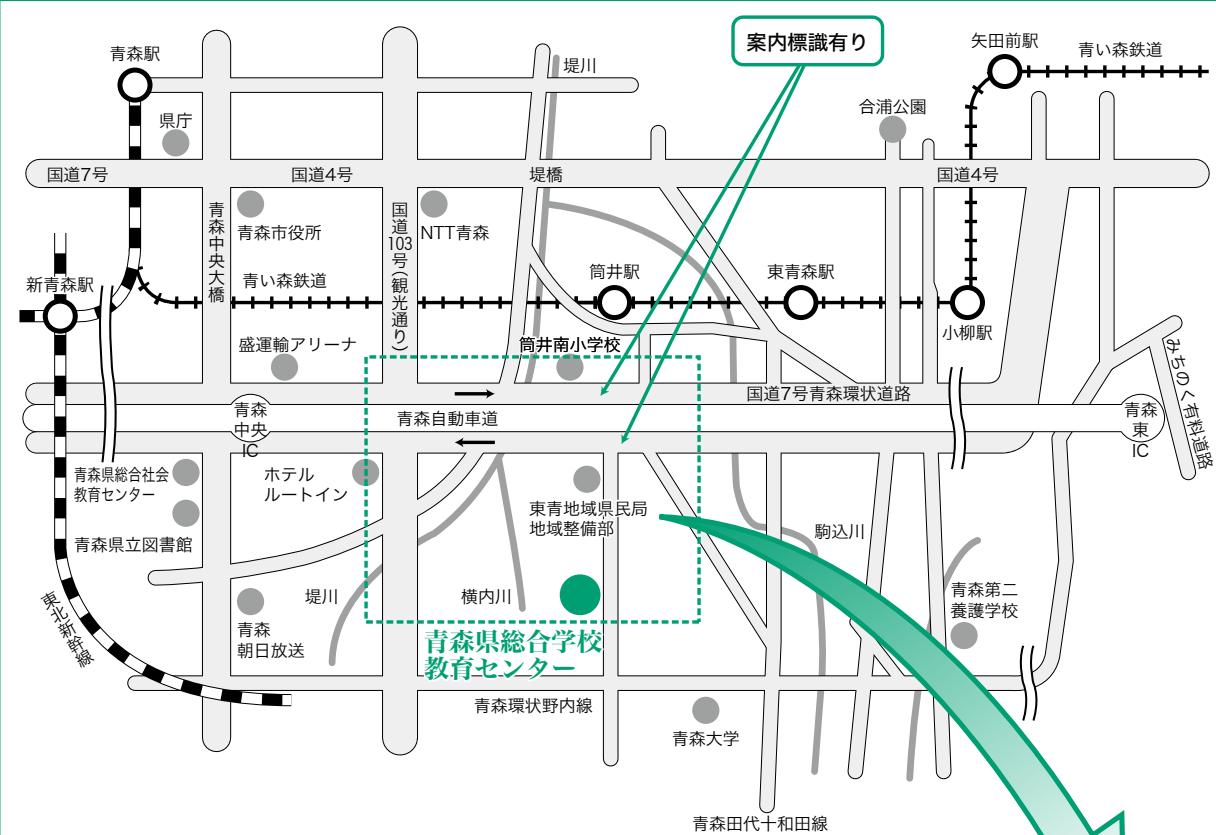
青森県教育研究所	教育森県理科学センター	昭25. 7 青森県教育研究所を青森県立図書館内に設置（初代所長 横山武夫教育次長）
		昭28. 4 青森県教育調査研究所と改称（日赤青森支部隣接地に移転）
青森県教育センター	特殊教育センター	昭32. 4 青森県教育庁教育研究所と改称
		昭37. 4 青森県教育研究所と改称（青森県立図書館内に移転）
相談セロのタ教育	こころのタ教育	昭39. 4 青森県理科教育センターを設置（青森県立図書館内）（初代所長 三上正章）
		昭39. 11 青森県教育研究所及び青森県理科教育センターを青森市大字筒井字桜川に移転
青森県総合学校教育センター	青森県情報処理教育センター	昭45. 4 青森県教育研究所及び青森県理科教育センターの統合により青森県教育センターを設置 分課は、庶務課、第一研修課、第二研修課及び第三研修課（初代所長 工藤信一）
		昭50. 4 青森県情報処理教育センターを青森市新城天田内に設置 (初代所長 富谷郁逸) 7 教職員研修開始 9 生徒実習開始 宿泊棟竣工
青森県総合学校教育センター	体育館	昭55. 3 青森県教育センター創立30周年・青森県理科教育センター15周年記念式典挙行
		昭56. 4 第四研修課（別名特殊教育センター）を設置し、特殊教育部門を充実
青森県総合学校教育センター	オンライン実習	昭63. 4 第一研修課、第二研修課及び第三研修課を統合して初等中等教育課を設置するとともに、第四研修課を特殊教育課と改称
		平元. 11 青森県情報処理教育センターの汎用コンピュータとオンライン接続 平2. 7 第一研修室にパソコンコンピュータ導入
青森県総合学校教育センター	新施設	平4. 10 青森県教育センター分館として青森市新城天田内にこころの教育相談センターを開設
		平8. 1 教育用ソフトウェアライブラリセンターを開設
青森県総合学校教育センター	連絡協議会	平4 青森県総合学校教育センター（仮称）建設基本構想策定
		平6 基本・実施設計委託、建設用地取得
青森県総合学校教育センター	連盟総会	平7 本体工事着手
		平8 多目的グラウンド等設計委託
青森県総合学校教育センター	連盟総会	平9. 11 管理研修棟・大研修室棟・体育館・食堂宿泊棟竣工
		平10. 4 青森県教育センター及び青森県情報処理教育センターを統合して、青森県総合学校教育センターを青森市大矢沢野田に設置（初代所長 平井軍治） 分課は、総務課、義務教育課、高校教育課、特殊教育課、産業教育課及び教育相談課（こころの教育相談センター併置）開所記念式典挙行 5月記念講演会開催
青森県総合学校教育センター	連絡協議会	平11 5月・10月東北・北海道地区教育センター協議会
		平12. 10 全国適応指導教室連絡協議会東北・北海道地域会議
青森県総合学校教育センター	連絡協議会	平13. 4 特殊教育課を特別支援教育課と改称
		10 全国教育研究所連盟教育指導等研究協議会
青森県総合学校教育センター	連絡協議会	平15. 10 都道府県指定都市教育センター所長協議会及び研究発表会 技術・家庭部会
		平16 5月・10月東北・北海道地区教育センター協議会
青森県総合学校教育センター	連絡協議会	平18. 6 全国教育研究所連盟総会・研究発表大会（青森市）
		平22 5月・10月東北・北海道地区教育センター協議会
青森県総合学校教育センター	連絡協議会	平22. 10 東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会
		平22. 11 全国適応指導教室連絡協議会東北・北海道地域会議
青森県総合学校教育センター	連絡協議会	平23. 10 都道府県指定都市教育センター所長協議会及び研究発表会 物理分科会
		平28. 10 東北・北海道地区教育センター協議会及び東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会
青森県総合学校教育センター	連絡協議会	都道府県指定都市教育センター所長協議会及び研究発表会 技術・家庭科分科会
		令2. 10 全国特別支援教育センター協議会研究協議会
青森県総合学校教育センター	連絡協議会	令4. 3 管理研修棟・大研修室棟・食堂宿泊棟・体育館棟外部改修工事終了
		令4. 10 全国適応指導教室教育支援センター等連絡協議会北海道・東北地域会議 東北・北海道地区教育センター協議会及び東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会
青森県総合学校教育センター	連絡協議会	令4. 11 車路改修工事終了
		令5. 10 全国適応指導教室・教育支援センター等連絡協議会 北海道・東北地域会議
青森県総合学校教育センター	新施設	令6. 3 大研修室電気設備等改修工事終了

# 連絡先

〒030-0123 青森市大字大矢沢字野田80-2  
TEL 017-764-1997代 FAX 017-728-6351  
URL <https://www.edu-c.pref.aomori.jp/>

総務課	直通 017-764-1997	義務教育課	直通 017-764-1996
高校教育課	直通 017-764-1995	産業教育課	直通 017-764-1994
特別支援教育課	直通 017-764-1993 FAX 017-764-1992	相談申込・お問い合わせ	017-728-5575 (教育相談課) (ここるの教育相談センター(教育支援センター))
教育相談課	直通 017-764-1990 FAX 017-764-1989		017-764-1991 (特別支援教育課)

## 交通の御案内



### ■青森市営バス

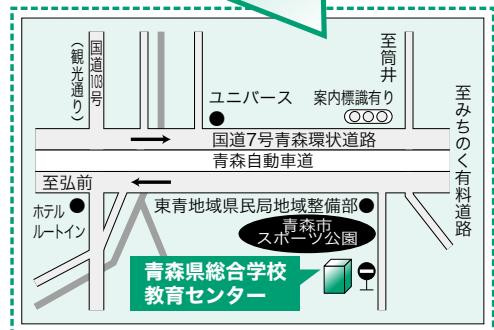
青森駅発「学校教育センター」行きの終点で下車

### ■タクシー

「東青地域県民局地域整備部から青森市スポーツ公園を過ぎた、県総合学校教育センター」と指定

### ■自家用車

国道7号青森環状道路に案内標識有り



---

---

## “新しい時代に必要となる資質・能力”を育む“教師力”の向上

---



中央で育つ花は子どもたち、花が育つ場は学校です。それらを取り囲む教師集団は、互いに連携・協働しながら教育活動に取り組んでいます。また、暖かな色合いで学校を包み込んでいるのは県総合学校教育センター等の関係機関や家庭・地域社会で、教育活動を支える様子を表しています。

舞い上がる花の色は、学校教育全体を通して育成される新しい時代に求められる資質・能力を表し、舞い上がる花は、子どもたちが自立し社会参加へ向かう様子を表しています。